

環境 Environment



環境取り組み

シマダヤグループでは、省エネ・省資源や食品ロスの削減など、環境負荷の低減に取り組んでいます。

シマダヤグループ環境基本方針、環境推進体制

シマダヤグループ環境マネジメントシステム

シマダヤグループでは、「シマダヤグループ環境基本方針」のもと、中期環境目的・目標を掲げ、その達成に向けて各部門で業務に沿った目的・目標を設定し取り組んでいます。

● シマダヤグループ環境基本方針

環境理念

小麦とそばと塩と水。「めん」は自然の恵みそのものです。

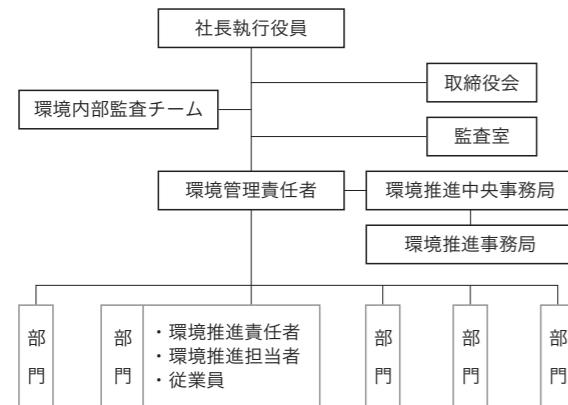
シマダヤグループは、自然環境と企業活動の調和の重要性を認識し、

めんを中心とする事業活動を通して環境保全に取り組み、健全で豊かな社会の実現に貢献します。

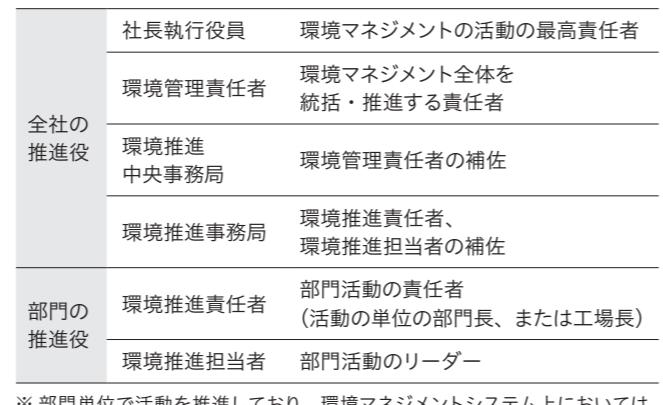
環境行動指針

1. 環境関連法規の遵守 社会の一員として環境保全に取り組み、環境関連の法規制その他の要求事項を遵守します。
2. 資源、エネルギーの有効利用 資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組むとともに、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。
3. 繼続的な環境改善 事業活動のあらゆる面において環境に配慮し、絶えず見直し、継続的な改善に努めます。
4. 環境保全意識の醸成 情報収集及び教育を積極的に行い、従業員一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めます。
5. 情報の公開 環境基本方針及び環境保全活動に関する情報を広く社内外に開示します。

● 環境推進体制



● 活動の推進役と役割



※ 部門単位で活動を推進しており、環境マネジメントシステム上においては、グループ会社は工場単位で1つの部門として活動しています。

シマダヤグループ中期環境目的・目標（2024年度～2026年度）

グループ全体方針

シマダヤグループは有益な社会・環境影響をもたらす活動を実践し
持続可能な社会の実現に貢献します

環境目的 ① エネルギー由来CO₂排出量の削減

環境目的 ② 廃棄物（スープ・具材・原料を含む）の削減

環境目的 ③ 持続可能な商品の安定供給（物流に関わるCO₂発生の抑制、物流の効率化）

環境目的 ④ 環境に配慮した商品（健康・簡便・国産原料使用）の拡販・サービスの提供

環境目的 ⑤ 環境に配慮した商品・設備の開発・導入

環境目的 ⑥ 持続可能な原材料の安定調達

環境目的 ⑦ 持続的成長に向けた「ブランド価値向上」・「生産性向上」をもたらす活動

中期環境目的・目標 2024年度取り組み報告

環境目的	2024年度実績
1 エネルギー由来CO ₂ 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度は目標比99.1%となりました。 工場では、廃熱の有効利用や太陽光発電システム、省エネ機器の導入等により電気・ガス使用量を削減し達成となりました。
2 廃棄物（スープ・具材・原料を含む）の削減	<ul style="list-style-type: none"> 工場では、設備メンテナンス等の保全活動により廃棄の削減に努めましたが、人的ミスや設備由來のトラブル等が発生し目標比109.4%と未達成となりました。 チルドは発注精度の向上や関連部門との連携を密に取り、目標比95.5%と達成となりました。冷凍は適切な在庫管理に努めましたが、輸送効率化テストのサンプル品の廃棄が発生し目標未達成となりました。
3 持続可能な商品の安定供給（物流に関わるCO ₂ 発生の抑制、物流の効率化）	<ul style="list-style-type: none"> チルドは積載効率による物流の効率化に努めましたが、仕入れ物量・配送回数の増加によりCO₂排出量は基準年度比で102.7%となりました。冷凍は遠隔地への配送が増加したものの、モーダルシフトの継続的な実施によりCO₂排出量は前年比で99.1%となりました。
4 (健康・簡便・国産原料使用)の拡販・サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> 販促・新規導入の拡大により国産価値商品の「太鼓判」が好調に推移し、目標達成となりました。 「流水麺」ブランドの拡販支援や展示会・プレゼンにて国産価値商品の提案に取り組みました。また、商品に関するお客様の要望を抽出し、商品開発・改良に繋げました。
5 環境に配慮した商品・設備の開発・導入	<ul style="list-style-type: none"> 「流水麺」ブランドのパッケージ変更や「本生」ラーメンと冷し中華2種の小麦粉の国産化、「鉄板麺」の賞味期限延長等、商品の開発・改良に取り組みました。 SNSを活用したプロモーションの実施や「健美麺」、「太鼓判」、「鉄板麺」の消費者キャンペーン実施等の販売支援に取り組みました。
6 持続可能な原材料の安定調達	<ul style="list-style-type: none"> 原材料仕入れ先よりCO₂発生量の情報収集及び集計を行いました。また、国内そば生産者との勉強会を実施し関係の構築に取り組みました。
7 持続的成長に向けた「ブランド価値向上」・「生産性向上」をもたらす活動	<ul style="list-style-type: none"> 株式上場への対応やIR活動の実行、働きがい向上策への対応、請求業務の効率化等に取り組みました。

ISO14001認証登録から20年を迎きました

シマダヤ㈱では2003年に環境推進室を新設し、ISO14001の認証取得に向けた取り組みを開始しました。2004年には、シマダヤ㈱と東京シマダヤ㈱(現 シマダヤ関東㈱東京工場)でISO14001の認証取得(審査登録)を達成し、今年度で20年目を迎えました。その後、順次適用事業所を拡大し、2025年9月現在でシマダヤ㈱及びグループ会社3社11工場が登録範囲となっています。

2024年度の更新審査においても、対象部門に対しヒアリングや現場確認が行われ、審査の結果、ISO14001:2015の登録更新が承認されました。

20年間の主な環境取り組み

1.「エコスリム包装」を採用した商品を発売

2010年より、一部の商品においてトレーを使用しない「エコスリム包装」を採用しました。「エコスリム包装」は、2011年に㈱食品産業新聞社主催の「第41回食品産業技術功労賞－環境・CSR部門－」を受賞しました。現在も可能な限り薄い素材への変更や、プラスチックトレーを使用しない包装形態へ移行していくことで、プラスチック使用量の削減に取り組んでいます。



2.「健美麵」ブランドの立ち上げ

健康寿命延伸のため、生活習慣病の予防や健康を気にする方に“健康で美味しい麺食をお届けする”ことを目的として、2019年に「健美麵」ブランドを立ち上げました。「美味しく食べて健やかな食生活をサポートします」をスローガンに健康新たに応える商品づくりに取り組んでいます。

減塩への取り組み

お客様の食塩摂取量の低減のため、原料や配合、製造工程を工夫し、食塩ゼロのうどんやそばを開発しました。特定非営利活動法人・日本高血圧学会の減塩・栄養委員会が減塩化の推進に優れた成果を挙げた製品を審査・認定する「JSH減塩食品アワード」で、2015年に「健美麵」食塩ゼロ本うどん、2023年に「健美麵」国産そば粉使用食塩ゼロ本そばが金賞を受賞しました。



糖質カットへの取り組み

糖質を気にしている方でも美味しく麺を食べていただけるように、糖質量を抑えておいしさを実現したうどんやそばを開発しました。



- ホームページにて「健美麵」を使用した「塩分が気になる方」「糖質が気になる方」向けのレシピを公開しています。

「健美麵」レシピ 検索



3.バイオマスインキの採用

2020年よりパッケージに使用しているインキに着目し、一部の商品において、石油由来原料を用いたインキからバイオマスインキへの切り替えを行っています。「バイオマスインキ」は、環境負荷低減に繋がる植物由来の原料を用いたインキで、石油資源の節約とCO₂排出量の削減に繋がっています。

このマークが目印です／



このパッケージのインキ
は、植物由来原料を一部
使用しています。

「鉄板麵」
2023年 15日



2025年 24日

「もみ打ち」
生冷し中華
2023年 21日



2024年 40日

「もみ打ち」ざる麺/
「時計台」らーめん
2023年 30日



2024年 40日

4.食品ロス削減への取り組み

ご家庭や店舗での賞味期限切れによる食品ロスを低減するため、商品の賞味期間延長に取り組んでいます。ここ数年の取り組みとして、「鉄板麵」は2024年に15日→21日、2025年に21日→24日、「もみ打ち」生冷し中華は2024年に21日→40日、「もみ打ち」ざる麺と「時計台」らーめんは2024年に30日→40日に延長しています。

また、冷凍麺は賞味期限を年月表示に切り替えています。その他、常温で100日間保存が可能な「長持ち麺」等もラインアップしています。



ISO14001認定事業所

シマダヤ関東株式会社

本社所在地：東京都昭島市



- ① 東京工場(東京都昭島市)
登録日：2004年7月16日
- ② 松戸工場(千葉県松戸市)
登録日：2009年10月16日
- ③ 群馬工場(群馬県前橋市)
登録日：2011年2月28日
- ④ 前橋工場(群馬県前橋市)
登録日：2010年2月23日
- ⑤ 埼玉工場(埼玉県深谷市)
登録日：2010年11月30日



シマダヤ東北株式会社
本社所在地：宮城県大崎市

- ⑥ 古川工場(宮城県大崎市)
登録日：2009年3月23日
- ⑦ 郡山工場(福島県郡山市)
登録日：2009年3月23日
- ⑧ 仙台工場(宮城県仙台市)
登録日：2015年12月21日

シマダヤ西日本株式会社

本社所在地：滋賀県近江八幡市



- ⑨ 滋賀工場(滋賀県近江八幡市)
登録日：2012年2月28日
- ⑩ 兵庫工場(兵庫県宍粟市)
登録日：2015年12月21日
- ⑪ 岐阜工場(岐阜県安八郡)
登録日：2009年10月16日



シマダヤ株式会社
所在地：東京都渋谷区
登録日：2004年7月16日

社会 Society

省エネ・省資源への取り組み

シマダヤグループでは、日々の業務において省エネ・省資源に取り組んでいます。シマダヤグループ工場では、省エネ機器導入による電気使用量の削減や設備更新によるガス使用量の削減のほか、従業員教育や生産効率の向上に取り組んでいます。また、シマダヤでは、包材の見直しによるプラスチック使用量の削減や物流効率化によるCO₂排出量の削減、システム活用によるペーパーレス化を進めています。

VOICE

冷凍麺物流の新たな取り組み

業務用事業部では、「物流2024年問題」に対応した輸配送能力の確保に取り組んでおります。冷凍食品業界では積載率低下等を理由に遅々として進まないパレット輸送を当社グループでは2025年2月より順次開始しております。また、輸送の複線化による能力増強とCO₂排出量削減のため、モーダルシフトにも積極的に取り組み、長距離幹線便の一部を鉄道（トラック輸送と比較したCO₂排出量90%削減）と船舶（同80%削減）に切り替え、定期的な運用を開始しております。
どちらも引き続き合理化、効率化に取り組んでまいります。

業務用事業部 川添 太郎



汚泥乾燥機の導入

シマダヤ関東(株)群馬工場では、2025年2月より汚泥乾燥機を導入しました。汚泥を乾燥させることで廃棄物の体積・質量を減らし、処分費や運搬費用の削減につながります。また、乾燥した汚泥は肥料として再利用することもでき、資源の有効活用にも取り組んでいます。



太陽光発電システムの導入拡大

シマダヤグループでは世界的な気候変動問題を踏まえ、環境負荷低減を図る活動の一環として、2022年度～2025年度にかけて、シマダヤ関東(株)の東京工場、群馬工場、前橋工場、埼玉工場、シマダヤ東北(株)の古川工場、郡山工場に太陽光発電システムを導入しています。再生可能エネルギーの活用により、電気使用量及びCO₂排出量の削減に寄与しています。



社会・環境に配慮した商品開発

シマダヤグループでは、変化する社会・環境やお客様のニーズに応えるため、商品を通して社会課題解決への取り組みを進めています。

お客様のニーズに応える商品開発

シマダヤグループでは、変化する社会・環境やお客様の多様なニーズに応えるため、“健康”“簡便”“高品質”“買い置き”“経済性”“国産”“環境”的頭文字をとった「7K」を開発キーワードとして、商品開発及び営業活動に取り組んでいます。



お客様の声への対応

シマダヤグループでは、お電話、お手紙、メール等で寄せられるお客様からの様々なお問い合わせに対し、迅速かつ正確にお応えしています。お客様からいただいた貴重な声は、日報やお客様相談室通信により関連部門に伝え、より良い商品づくりに活かしています。

「流水麺」1食分の取り出し方法の情報発信

お客様よりいただいた、「『流水麺』2人前は1食ずつ取り出しにくい」というお問い合わせに対し、ホームページ上で1食分の麺の取り出し方法を動画で掲載し、周知を図っています。



「本生」ブランド原料小麦粉の国産化

お客様よりいただいた、麺に使用する原料小麦の国産化のご要望に応じて、「本生」ブランドの原料小麦粉についても新たに国産小麦粉を使用しました。



VOICE

「お客様の声を聴く会」を実施

お客様相談室では、シマダヤグループ生産工場の従業員にお客様の声をお届けするために「お客様の声を聴く会」を実施しています。お客様の声を聴くことで、商品に対する新しい気付きや仕事に対する取り組み意欲の向上につなげる目的です。

日々、お客様から寄せられる声は問い合わせやお申し出など様々なため、実施する部門、工場に合わせて、参加者がより身近に感じられる声を選定し、有意義な時間となるよう工夫しています。これからも、シマダヤ商品とお客様の橋渡し役として、活動を継続してまいります。

お客様相談室 高橋 一俊



「お客様の声を聴く会」の様子

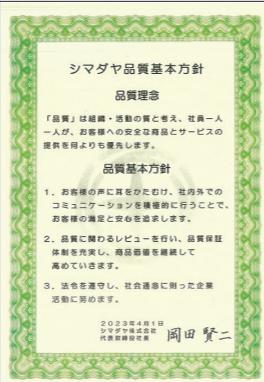
安全・安心への取り組み

シマダヤグループでは、食品メーカーとしてお客様に安全・安心な商品をお届けする責任を果たすために、グループ全体で取り組みを推進しています。

シマダヤグループの品質に対する考え方

シマダヤグループでは、「シマダヤ品質基本方針」に基づき、日々の活動に取り組んでいます。

当方針では品質を商品の質としてだけで捉えず、組織や活動の質と定義しています。また、シマダヤグループ工場では、商品の安全・安心への信頼性を高めるため、HACCPを含む国際的な食品安全マネジメントシステムであるFSSC22000に取り組み、2025年8月現在、全11工場で認証を取得しています。



安全・安心に配慮した製造管理

シマダヤグループ工場では、安全・安心な製品をお届けするために、各製造過程における異物除去装置の導入・運用や、製造現場の衛生管理・清掃、メンテナンス、微生物検査・官能検査等を実施しています。また、ハード面だけでなく、従業員教育を通じた衛生意識の向上等、ソフト面の取り組みも行っています。



ISO9001認証取得への取り組み

ISO9001は品質マネジメントシステムの国際規格で、顧客満足と継続的改善を目的としています。当社は、グループの製造工場が先行して認証取得した食品安全マネジメントシステムFSSC22000と連携し、シマダヤグループ全体で安全・安心を追求してお客様の信頼を高めるために、ISO9001の導入を決定しました。日常業務の仕組みを最大限活用して、事業と品質マネジメントシステムを統合した運用により2025年4月30日にシマダヤ株式会社（監査室を除く）として認証を取得しました。この認証取得を出発点と位置づけ、食品の安全・安心を常に意識しつつ、お客様の求める製品・情報サービスの提供を追求していきます。



働きやすい環境づくり

シマダヤグループでは、従業員が安全で、働きやすい職場環境を確保するため、行動計画を策定し、取り組みを実施しています。

仕事と家庭の両立支援に向けて

シマダヤでは、従業員の多様な働き方への支援として、時差出勤制度やテレワーク勤務制度、育児に伴う短時間勤務制度等の制度を整えています。また、次世代育成支援対策推進法に基づき、柔軟な働き方を推進して従業員が仕事と家庭の両立を図ることができるよう、以下の目標を策定し、取り組みを実施しています。

計画期間	目標	実績
2021年4月1日から 2025年3月31日までの 4年間	計画期間内における育児休業の取得状況を次の水準にする 男性社員：取得率 30%以上 女性社員：取得率 100%の維持	2024年度実績 男性社員：取得率 66.6% 女性社員：取得率 100%
2025年4月1日から 2027年3月31日までの 2年間	① 計画期間内における育児休業の取得状況を次の水準にする 男性社員：取得率 80%以上、女性社員：取得率 100%の維持 ② フルタイム労働者の年間平均総労働時間を2%削減(2024年度比)する	—

女性の活躍推進に向けて

女性活躍推進法に基づき、女性が継続して就業し活躍できる雇用環境の整備を行うために、以下の目標を策定し、取り組みを実施しています。

計画期間	目標	2024年度実績
2021年4月1日から 2026年3月31日までの 5年間	① 全社員に占める女性の割合を27%以上とする ② 男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数の割合を70%以上とする	全社員に占める女性の割合： 全体27.0%（正社員25.3%、パート社員100%） 男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数の割合：全体67.5%

※ 期間の定めのない労働契約を締結している労働者と、労働契約期間が通算5年を超える労働者が対象

電子化への取り組み

電子契約サービス導入による文書電子化の推進

取引上、重要な文書である契約書類の電子化であるため、内部統制やセキュリティの観点から慎重に検討を重ね、導入を決定しました。サービスを利用開始するにあたり、誤締結が発生しないよう操作マニュアルの作成、従業員に対する操作支援の実施や取引先様向けの案内文章を作成し、スムーズに電子契約サービスを展開できるよう対応しました。

クラウド型電子請求書発行システム導入による業務改善

請求書発行業務の効率化及び誤郵送のヒューマンエラーリスクの排除及び郵送料等の経費抑制を目的に、電子請求書発行システムの導入に取り組みました。このシステムの導入により、長年変えることができなかった請求書の封入、チェック、投函等の作業を削減し、工数削減、ヒューマンエラーの解消を実現しました。また、郵送代も大幅に削減することができ、得意先様からの1時間でも早く請求書が欲しいとの要望にも応えることができました。

コミュニケーション

シマダヤグループでは、地域との交流やお客様とのコミュニケーションを大切にし、様々な取り組みを行っています。

子ども食堂への寄付活動

シマダヤ東北株古川工場では、地域貢献の取り組みとしてこども食堂に商品提供を行っています。常温保存可能かつ賞味期間が長く保存性に優れている「長持ち麺」を毎月提供しています。2025年8月17日(日)には、屋台風のこども食堂を開催し、メインメニューとして焼うどんを参加者の皆様に召しあがっていただきました。



屋台風のこども食堂の様子

■ 地域行事への参加

各事業所では、地域貢献及び企業PRの一環として、地域行事への参加を積極的に行っていきます。地域のお祭りへ協賛・出店し、主に焼そばを調理して提供しました。近隣住民の方との貴重なコミュニケーションの機会となっています。



地域のお祭りの様子

■ 地域清掃活動の実施

各事業所では、地域貢献の1つとして、定期的な事業所周辺の清掃活動を継続的に実施しています。清掃活動への参加を通して環境意識の向上にもつながっています。



清掃活動の様子

TOPICS

「HOBBY COOKING FAIR2025」に出展しました

2025年4月17日（木）～19日（土）に東京ビッグサイトで開催された消費者の方と直接ふれあうことのできる食のマーケティングイベントである「HOBBY COOKING FAIR2025」に出展いたしました。本イベントでは食生活に関する新しい発見に意欲的な方が多く来場されました。



今回、お客様へダイレクトに「流水麺」の魅力をお伝えする機会として「流水麺」を使用したサラダめんメニューの試食提案を行いました。合計約5,000人の方にご試食いただき、おいしさや手軽さの点で高評価をいただけたとともに、サラダと一緒に食べることへの気づきを与えることができ、「自宅で試してみたい!」等の嬉しいお言葉も多くいただきました。

また、今まで「流水麺」を敬遠していたという方にも、おいしさに気づいていただけけるきっかけになる等、改めて実際に食べていただくことの重要性を感じることができました。これからもお客様とのコミュニケーションを大切にし、「流水麺」の魅力をお伝えする取り組みを進めてまいります。

ガバナンス Governance



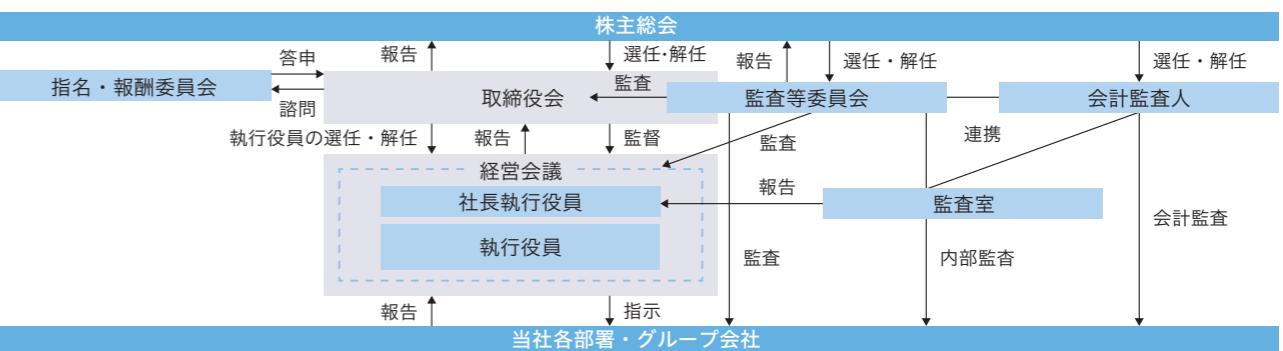
コーポレートガバナンス強化の取り組み

シマダヤは、2024年10月1日に東京証券取引所 スタンダード市場に上場しました。株式上場に向けた準備として、取締役会の監査・監督機能を強化し、企業価値の向上を実現するため、2023年5月に監査役設置会社から監査等委員会設置会社へ移行しました。また、経営に関する監督機能と執行機能を分離するとともに、業務執行の効率化と意思決定の迅速化を図ることを目的に、2025年4月より委任型執行役員制度を導入いたしました。

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、経営コンセプトとして「おいしい笑顔をお届けします」を掲げると共に、「シマダヤグループ行動規範」を定め、法と社会規範に基づいた行動を実践し、株主、消費者、取引先、従業員等すべてのステークホルダーとの関係を重視し、社会から必要とされる企業グループとして、永続的な発展を目指しております。これら経営コンセプト・行動規範の下で、的確で迅速な意思決定により企業価値を増大させ、透明性の高い企業体質を醸成することがコーポレート・ガバナンスの基本であると考えております。

コーポレートガバナンスの体制図



コンプライアンス／リスクマネジメントの取り組み

リスクマネジメントの推進	シマダヤグループでは、企業として存続・発展するために、その障害となるリスクを正確に把握し、危機発生時の損失を極小化するリスクマネジメントに取り組んでいます。シマダヤグループ全体で、コンプライアンスを含めて想定されるリスクを洗い出し、リスクの発生要因を排除・削減するために実行計画を策定し、取り組みを推進しています。
シマダヤグループ行動規範の周知	シマダヤグループでは、「シマダヤグループ行動規範」の啓発活動の一環として、ハンドブックを作成し規範内容の理解促進を図っています。ハンドブックには、「おいしい笑顔をお届けします」の実現に向け、関連する法令・規程や、従業員一人ひとりが日々の行動で意識することを記載し、従業員の意識向上に努めています。
シマダヤグループ内部通報制度	シマダヤグループでは、法令遵守や、ハラスマント防止等を徹底するため内部通報制度を設けています。また、内部通報制度を機能させるために、連絡先の発信や、携帯カードの配布、ポスターの掲示等を行い、従業員への周知徹底を図っています。
パートナーシップ構築宣言の公表	シマダヤでは、2024年2月より、自社の取引方針及び重点取り組みを宣言する取り組みとして、「パートナーシップ構築宣言」を公表しています。サプライチェーン全体の共存共栄と新たな企業間連携や、下請法の定める振興基準の遵守等に重点的に取り組むことを宣言しています。